

仁鮎さら踊



このコーナーは、市民の皆さんをリレー方式で紹介します。

藤田 修志さん (二ツ井町仁鮎)

威勢のいいおはやしと掛け声で、お盆を告げる仁鮎の夏の風物詩、伝統芸能「仁鮎さら踊」。江戸時代より伝わるこの歴史深い行事に私は参加し、獅子踊りを担当しています。さらは毎年8月13日、14日に先祖供養と五穀豊穡(ほうじょう)を祈願して行われています。

地元の方はもちろん、お盆に帰省した方など昔からたくさんの方がさらを楽しんで見てください。私はそんな伝統ある行事に参加できることをとても誇りに思っています。しかし、近年は参加する人も見学する人も減っていて、不安に感じることが多いです。

先人よりつないできたこの歴史と伝統を、次の世代へとまたつないでいくことは私たちの責務であり、その素晴らしさを広め伝えることができるというのは、参加している私たちの特別な権利だと思います。できることはまだまだ少ないですが、このようなことから地元を盛り上げていきたいです。訪れた人がまた来たいと思うような能代を作っていきたいです。

※次回は、智田優梨さん(二ツ井町飛根)にタッチします。

相談窓口をご利用ください

● 教育相談・不登校や就学に関する相談

◇ 教育相談「風の子電話」(サン・ウッド能代内)

時間 午前 8時30分～午後 4時30分
問合せ ☎ 89-1616

◇ 教育研究所(二ツ井町庁舎)

時間 午前 8時30分～午後 5時15分
問合せ ☎ 73-5178

読んでみて!

わたしの
押し本

秋田県立能代高等学校3年
伊東 彩花さん
「ナミヤ雑貨店の奇蹟」

ストレートな返信が面白い!



著 : 東野圭吾

出版年 : 2012年
出版者 : KADOKAWA

市立図書館 所蔵あり



窃盗を働いてきた少年たちが、かつて悩み相談をならわいとしていた雑貨店に身を潜め、過去から届く切実な悩みがつづられた手紙に、当時の店主に代わって返信するという物語です。

● **ここがおすすめ!**

少年たちの単純明快で遠慮容赦ない返答によって心に複雑な感情や葛藤を抱えた手紙の主たちがどんどん変化していく、その変化の過程がこの小説の醍醐味です。こんな雑貨店が本当にあったらいいのに、否、誰かの悩みを正面から受け止められる、そんな懐の深い人間でありたいと思います!

メッセージ from...

観光振興課の中嶋結也です。昨年4月、秋田県庁から派遣となり、9ページに掲載のニューノーマルあきた白神観光キャンペーンを主催するあきた白神ツーリズムの支援業務などを担当しています。新型コロナウイルス感染症拡大を予防するため、衛生管理の徹底やソーシャルディスタンスの尊重などの「ニューノーマル(新たな状態)観光」が今後求められてきます。ニューノーマル観光での誘客を推進するため、最大10万円が当たるスタンプリーが9月30日まで開催されていますのでぜひご参加ください。

問合せ 観光振興課

☎ 89・21179



問合せ 生涯学習・スポーツ振興課 ☎ 73-5285